



メープルつうしん

特定非営利活動法人ひだまり

理事長 平井 紳一

メープルリーフ担当 高柳

所在地：〒263-0005 稲毛区長沼町32番地

Tel：043-258-8604 Fax：043-310-5061

E-mail：mapleleaf@almond.ocn.ne.jp（添付文書OK）

*NPO ひだまりホームページ <https://www.hidamari.or.jp>

☆ 花粉症の季節になりました。

2月になりました。今年は花粉飛散開始が非常に早く1月中旬には喉や目の違和感、鼻水が出始めている方がいらっしゃると思います。

花粉の飛散量自体は関東では昨年ほどではないようですが、症状のある方は、早めに医師への相談等対策をお考え下さい。

☆ 3月の予定・予約表の締め切りに関して

3月予約表締め切り

2月15日（土）17:00

※ 締め切りまでに予約が間に合わない場合には、必ずご一報ください。連絡なく数日遅れた場合、支援調整が出来ない場合があります。ご容赦ください。

※ 通所施設等の行事や退園時間変更等のスケジュールをメープルリーフは把握しておりません。お手数ですが、毎月、隔月等に関わらず、利用希望を連絡いただくようお願いします。

※ 予約締め切りは毎月15日です。 予約表がお手元に届かないなどのご連絡をいただくことがあります。FAXのほか、メールや電話でも希望を受けていますので、まずはご連絡をお願いします。

3月予約返事は

2月24日（祝）を予定しています。

※ **2月は特に予約調整に時間が取れないため、**

遅れた場合、全ての予約をお断りせざるを得なくなります。

締め切り厳守でおねがいします。 ※

☆ 研修の集いについて

1月18日に行われた障害児者の将来を守る父の樹会と千葉大学教育学部附属特別支援学校の共催で行われた研修の集いにおいて「卒業後の暮らしに向けて」と題して、障害福祉サービスの制度やお金の話、あまり話題とされないのですが家庭で過ごしていくうえで大事な時間の話、卒業後の相談先を作っておいてほしいこと等をお話しました。

また今回特に中学部以下の保護者の参加が多かったため、卒業後も非常に大事な話ではあるのですが、昨今放課後等デイを利用している上で多いトラブルへの相談「薬を飲んでくれないと受けられない」について、児童精神科医や睡眠専門医等の書籍や講義を元に、薬さえ飲めばいいわけではないこと、しかし、医療とのつながりが大事であることを説明しています。

お話の中でも触れましたが、障害を持った方は自分の体の不調を他者に説明することが非常に苦手です。例えば、30分に1回トイレに行くのをこだわりだと思って注意をしていたら、実は尿路感染症に罹っていて不快感からトイレに頻繁に行かざるを得なかったなど、行動の裏に障害特性とは全く別の病気があることもあります。こういったケースは医療と繋がらないままに良くなることもあります。ご本人の辛さをくみ取れなかったことで、他の課題行動に繋がってしまうこともままあります。医療とのつながり方の発信については、今後も続けていきたいと考えています。

来年度以降学校の方向けにお話する機会がありましたら、今回質問のあった「障害基礎年金について」を話題に出来たらなと考えています。こういった生活に直結した話題を題材に出来るのは親の会が主体となっているからこそと感じます。今後ともよろしくお願いいたします。

☆ ひだまり勉強会が開催されます。

2/22（土）に当法人が障害児者の将来を守る父の樹会と共催してひだまり勉強会を開催します。

ひだまり勉強会は「親なきあとは、親あるうちに」を基本テーマに行っていますが、今回は「成年後見申し立ての準備について」と題し、成年後見の申し立てに際しての書類や作成上の留意点、さらに関連の深い自筆遺言証書及び遺贈寄附についての勉強会となります。

成年後見制度については、開始から20数年が経過し諸々の問題点や不備が特に障害を持たれた方の生活を見守る上で表面化してきているため、国では制度改正の動きも出てきていますが、今を生きるうえで様々な問題から身近に頼れる人がいない場合には有用な制度であります。親の会と共に様々なご家庭の状況に触れる中で「親あるうちに」という言葉の重さに事業所のスタッフとしても様々なことを感じております。少しでも制度利用について興味がおありであれば、是非参加をご検討ください。